

日本に対する超 A 級戦犯について、

日本に対する超 A 級戦犯として、少なくとも 3 人のアメリカ人を告発しよう。

カーチス・ルメイ と ハリー・S・トルーマン と フランクリン ・ デラノ ・ ルーズベルト の三人だ。

無差別殺戮爆撃で日本を焦土に化した ルメイ

2つの都市の罪のない市民を焼き殺した、広島・長崎に原爆を落とし、今なお苦しめ続けている トルーマン

濡れ衣を着せ、日本を戦争に引き込み、日本への憎しみを煽り、ソ連と組んで非情をなした ルーズベルト

特に、アメリカ大統領ルーズベルトは策略・陰謀によって、日本を戦争に追い込み、真珠湾攻撃を事前に知りながら、自国の軍隊にも知らせず、自国の若者を捨て石にしたのである。

しかも宣戦布告の受理を故意に遅らせ、日本を卑劣な国家と濡れ衣を着せた張本人である。アメリカ人に日本人への憎悪植え付けるために、自国の若者を捨て石にした日米共通の超 A 級の戦犯でもある。

これらを世界に知らせることは、日本の濡れ衣を晴らすのは勿論であるが、戦後濡れ衣を着せられ、肩身の狭い思いをしたきた人たち、戦後の日本を作ってきた人たちに、戦後もやもやした心を持って歩いて来たが、やはりやってきたことは正しかったのだという日本人としての誇りを取り戻し、心にやすらぎをもたらすことができる。それはかりか、現在の日本人及び未来の日本人に、日本人としての誇りを持ってもらうことができるのである。アメリカの国民にとっても、ルーズベルト大統領の日本に対する犯罪を知り認める事は重要である。このまま、ハワイの真珠湾に奉られている人たちは、捨て石にされたまま真実を明らかにされず、彼らを死に追いやった真犯人を知らせないままにしておくことは、あの世で真実を知っている彼らへの裏切りでしかないからだ。また、戦争を経験した元兵士たちも、真実を知らずにこのまま死んで行くのは、あまりにもアメリカ国家として理不尽である。今もあの戦争が、ルーズベルトによって仕組まれた戦争で、アメリカ国民を操り多くの日本国民とアメリカ国民の生命を奪ったこと、また都市の無差別爆撃や人類に対して最初の原子爆弾を使う等々、数多くの重罪を犯させたことを知る権利があるのではないだろうか。

アメリカは、先住民を殺戮し滅ぼしたり、不毛の砂漠に居留地をつくり隔離しただけではない。多くのアフリカ人を人間性を全く認めない奴隷としてに酷使、殺戮して、彼らの労働詐取の上に財を築き、横暴に振る舞ったばかりか、後からきた移民に対しても酷い扱いをしてきたのである。そればかりか独立国のハワイ王国や日本に対し、脅迫し続けたのだ。アメリカが、「ハワイ王国を侵略占領し盗んだこと」「日本に対して犯した多くの罪」「人類に対する犯罪を犯した者」だということを、そして今も世界中で戦争を引き起こして無実の人間を殺戮し続ける過ちを犯し続けていることを世界に伝えるとともに、日本の子供達に語り継いでいかなければならない。

真珠湾攻撃は、アメリカ軍と乗っ取られた傀儡議会によって侵略されていたハワイ王国の救済の為の聖戦だったことと、

日本が同盟国と共に、アジアが白人による植民地から独立して、人間としての尊厳を取り

戻す為に戦ったこと、

日本人を虐殺した犯人と日本に濡れ衣を着せた犯人が、カーチス・ルメイ と ハリー・S・トルーマン と フランクリン ・ デラノ ・ ルーズベルト の三人だということ語り継ごう。

日本人で日本国民に対する罪を洗い直すとすれば、

無謀・無責任な作戦と命令で、兵士と国民に害をもたらした者

「虜囚の恥をかくな」と兵士に自決を要求しながら、自らは自決もできず虜囚となり、敵の裁判で殺され者

敵国の一方的な裁判でも、彼らの冷酷非情な殺戮を世界に告発せず、日本への汚名・濡れ衣をはね除ける努力をしなかった者

彼らには、日本国民の英霊・靖国の御霊の資格があるということは、疑問が残る。

数え切れない名もない兵士の遺骨・霊が、アジアの野に、洞窟に、海底に放置されたままだ。

祖国に帰ることもできずに雨風に曝されて放置されている彼らの思い・怨念はどちらを向いているのだろうか。

彼らの無念を晴らすためにも、日本の未来のためにも、アメリカ国民のためにも、真珠湾攻撃の真実を暴き、日本国民とアメリカの国民の真の相互理解に役立て無ければならない。